（三田市議会市民との意見交換の場に関する要綱第７条第１項関係　様式１号）

三田市議会市民との意見交換会　実施報告書

意見交換会名	さんだ声ひろば with 市議会	班名	３班
開催日時	令和８年７月２６日（日）午後４時　～　５時３０分		
開催場所	市役所６階　委員会室		
出席議員	（班長）今北　義明 ３班①　進行：坪ノ内　幸司、発表等：福本　愛、記録：山崎　丈 ３班③　進行：中田　哲、発表等：市民(２人)、記録：長谷川　良果		
参加人数	３班①３人、３班②２人、３班③３人	事務局	―
実施概要（テーマ・報告内容・進行等）	３班①　農業・里山整備、公共交通 ３班②　地域コミュニティ、フラワータウン再生 ３班③　地域振興、農業・里山整備、公共交通		
主な意見・要望・提案（意見交換の内容）	**【テーマ：地域コミュニティ】３班②、③** **■主な意見** ・すずかけ台小学校が全国的にも限られた数しか選ばれない「環境美化の表彰」を受けた事例が挙げられた。自治会やまちづくり協議会が学校運営に深く関わり、良好な連携関係が構築できている成功例である。（３班②） ・自治会やまちづくり協議会の取組の良さは理解できても、具体的な活動内容が十分に伝わっていない現状がある。活動の魅力や価値を住民に知ってもらうための広報・発信活動が必要。（３班②） ・「三田に住んで良かった」と住民が実感できるよう、自治会に対する市からの積極的かつ主体的な支援を求める。（３班②） ・自治会加入者の減少が加速しており、自治会活動の維持が困難になっている。（３班③） ・まちづくり協議会と自治会の連携について、地域によっては役割分担や関係性が十分に整理されておらず、活動の重複や意思疎通の難しさが生じている。（３班③） ・市の広報媒体を活用し、自治会の役割や地域における重要性を市民へ発信するとともに、自治会加入の意義を広く周知する取組が必要。（３班③） ・ごみステーションの管理など、地域全体に関わる公共性の高い活動について、自治会だけに負担を求めるのではなく、市による財政的支援や、利用者から一定の費用負担を求める仕組みなど、新たな支援制度を検討すべき。（３班③）		

	・まちづくり協議会や自治会が持続的に活動できるよう、市が単なる補助金交付だけでなく、運営面でのサポートや助言、地域課題解決に向けた伴走支援を積極的に行うべき。（３班③） **■要望・提案** ・役員のなり手不足という深刻な課題に対し、「班長を５人に増やして役割を分散させる」提案があった。（３班②） ・自治会が担っている地域の見守り、防災、防犯、環境美化などの「共助」の仕組みが失われれば、結果として行政負担の増加につながるため、市として自治会支援のあり方を本格的に検討すべき。（３班③） ・まちづくり協議会と自治会の役割を明確化し、円滑な連携につながるよう、市が調整役として関わるべき。（３班③） **【テーマ：地域振興】３班③** **■主な意見** ・小野公園の池について、地域の皆様が清掃活動などに取り組み、「モネの池」として観光資源化を進めた結果、多くの観光客が訪れるようになった。（３班③） ・観光客の増加によるオーバーツーリズムへの対応については、地域住民の生活との調和を図ることが重要であり、住民の理解や協力を得ながら、持続可能な観光振興を進める必要がある。（３班③） ・観光資源の維持管理について、利用者からの協力金・寄付・募金などを活用する仕組みを構築し、その財源を活かして管理人の配置や維持管理体制の強化につなげるべき。（３班③） **■要望・提案** ・小野公園は観光客の増加に伴い、駐車場不足など新たな課題が発生しており、近隣の空き地などを活用した駐車対策を検討してはどうか。（３班③） ・小野公園は、観光地としての魅力向上を図るため、トイレの衛生面や設備機能の改善が必要であり、市による改修整備を検討すべき。（３班③） ・小野公園の「モネの池」だけでなく、千丈寺湖や周辺の自然環境を一体的に活用し、アウトドア観光や体験型観光の拠点として発展させてはどうか。（３班③） **【テーマ：農業、里山整備】３班①、③** **■主な意見** **■要望・提案** ・観光客が希少な生物を捕獲し持ち帰る事案も発生しており、在来種の保護活動を進める中で、貴重な生態系を守るためのルールやマナー啓発など生物多様性を守るための対策を検討すべき。（３班③） ・「モネの池」が有する豊かな生物多様性を、単なる観光資源としてだけでなく、環境学習や自然教育の場として活用し、学校教育や地域学習と連携した取組を進めてはどうか。（３班③）

	・担い手不足が続く中、樹木の高齢化（60～70 年経過）が進み、倒木リスクが高まっている。今後の安全確保の観点からも、整備体制の強化が必要。（３班①） ・市とボランティア団体との連携が十分に機能していないのではないか。各団体が個別に活動しており、連携が不足しているうえ、構成員の高齢化も進行している。草刈り等の地域ごとの活動についても、市全体での整理・連携強化が求められる。（３班①） ・「モネの池」などは、地域に関係なく活動する人がいる。毎回１０人ほどが参加している。情報共有を他団体とできるといい。（３班①） ・市が中心となって、活動団体の連携の場（情報交換会など）を作ってほしい。活動団体の高齢化が進んでいる。新規加入のためにも６０代の人も参加できるように、担い手の情報交換会などを土日に開催してほしい。（３班①） **【テーマ：公共交通】３班①** **■主な意見** ・神姫バスの減便や路線廃止により、移動手段の確保に不安がある。（３班①） ・神姫バスの路線がなくなったところでは、学校のスクールバス、地域内交通など重なりがある。（３班①） ・「お互いさま之助」等のタクシーに乗る人を増やして、持続可能性あるものにしていく必要がある。（３班①） ・買い物困難地域に対しては、移動販売や民間事業者との連携も有効な手段として検討すべき。（３班①） **■要望・提案** ・スクールバスを日中地域に利用するなど、他の利用方法を考えてほしい。行政の縦割りをなくして、市民のためのバス利用制度を作ってほしい。（３班①） **【テーマ：フラワータウン再生】３班②** **■主な意見** ・高齢化が進む中で、現在の住民だけが満足する街ではなく、新しい世代が「転入したい」「住みたい」と思える魅力的なまちづくりが必要。（３班②） ・地域交流を促進するため、働いている世代（20 代～50 代）も含めて人々が集まれる場所や空間の確保がいるのでは。（３班②） ・「ここに行けば生活に必要なものが揃う」という利便性の高い商業施設や最新の機能が必要。特にフラワータウン内は飲食店の数が少ないため、人が集まるきっかけとなる飲食店の誘致・拡充が必要である。（３班②） **■要望・提案** ・特に県営住宅（県住）などの景観・見栄えが悪い。再開発や再生計画を進める前段階として、既存施設の適切な管理・改善（必要に応じて兵庫県への要望を含む）をしっかりと行うべき。（３班②）

令和８年７月３１日

（三田市議会市民との意見交換の場に関する要綱第７条第１項関係　様式１号）

議会改革推進会議委員長　様

上記のとおり、実施いたしましたので報告します。

班長　　今北　義明